

# 北海道文化奨励賞

さか い こう じ  
酒 井 広 司

昭和55年に東京工芸大学短期大学部写真技術科を卒業後、札幌市での写真スタジオ勤務を経て、自己の写真スタジオを設立。以後、個展を多数開催するほか、数多くのグループ展に参加するなど北海道内の中堅の写真家として活躍。一貫して北海道をテーマとしてきたが、いわゆる北海道の典型的なイメージを排し、何気ない風景との出会いにおいて発見された原北海道ともいべきイメージを写真によって引き出してきた。北海道に根ざした制作活動は、これからの北海道の写真芸術のみならず、広く美術や文化の創造にも大きな契機となることが期待される。大学で非常勤講師も務めるなど、後進の育成にも尽力している。

## ◎受賞者の主な略歴

- S55 東京工芸大学短期大学部写真技術科卒業  
同大学主催第1回フォックス・タルボット賞受賞
- S59 個展「1978-1984」(ギャラリーユリイカ) 開催
- H3 個展「枯れたものたち」(ギャラリーアイ) 開催
- H6 日本写真家協会会員(～現在)
- H8 個展「SightSeeing」(札幌市資料館ギャラリー) 開催
- H9 写真の交差点(札幌INAXギャラリー) 初参加
- H12 札幌大谷短期大学非常勤講師(～H23)
- H16 「札幌の美術2004」展(札幌市民ギャラリー) 出品
- H24 500m美術館オープン記念展出品  
赤平「炭鉱の記憶」展出品  
札幌大谷大学非常勤講師(～現在)
- H26 第30回写真の町東川賞特別作家賞受賞  
札幌国際芸術祭連携企画「表出する写真・北海道」展出品

